

令和5年度神奈川 ME-BYO リビングラボ 実証事業の評価（審査委員会評価）

1 実施事業者

株式会社 YRK &

2 実証事業のテーマ

高齢者のフットケアサービスを用いた歩行機能改善と運動習慣向上に関する探索的研究

3 実証事業の評価

本実証事業は、薬局を訪れる高齢者を対象に、13名にフットケア（足爪ケア）を実施し、先行研究事例の再確認となる施術前後の歩行機能と運動の機能への効果確認およびフットケアによる意識変化を検証したもので、当初計画36名にはいたらなかったものの、探索的研究としての検証については、手順通り実施されたと評価できる。

実証の結果として、フットケアが、参加者の歩行機能や運動機能向上にポジティブに働くことが示唆された。加えて、参加者の意識の点でも、機能改善に関する自覚結果が確認された。この点は、未病段階からフットケアへの意識を高め、自身の足爪のメンテナンスを行う行動変容を引き起こす重要な気付きになったと考えられる。また、専門委員からは、フレイル予防につながる可能性、有効性も高く、参加者の満足度が高かったことから、フットケア普及の必要性について評価を受けた。

実証店舗（薬局チェーン）の薬剤師からは、フットケアの意義や地域医療への貢献に繋がるといった声もあり、サービスに好意的な評価を受けた。また、参加者からのアンケートからは、足部の痛みや不快感の改善のほか、ケアを続けたいとの声も多く、セルフケアに関しても、意識変容に繋がることが確認された。一方で、本実証では、薬局およびドラッグストア窓口（ドラッグストア併設店）でのポスター掲示およびチラシ配布（300枚）を1か月実施し参加者募集を行ったが、フットケアの認識が低く、興味を示さない方への認知度向上や、フットケア希望者への価値訴求およびコミュニケーションの難しさもあり、集客面の課題が明らかになった。

今後は、フットケアの社会実装に向けて、カスタマーセグメンテーションを検討し、歩行に課題を感じているターゲットへのアプローチ法の検討や、中長期的な評価系の導入など、様々なケーススタディの検証を期待する。

例えば、フィットネスを提供する企業や団体、アカデミア等と連携し、歩き方の改善

とフットケアをセットで提供する座組や、高齢者施設における足爪、手爪、マッサージと歩行訓練やフィットネスなどを一体で行うなど、フットケア単体のみに限らないサービスの提供により付加価値を高めるなど、マネタイズができる仕組みの検討を行うことが必要と考える。併せて、施術者の育成と施術サービスを受けられる拠点の構築を図り、高齢者へのサービス機会を増やすことで爪切り難民を減らし、高齢者のフレイル予防対策に繋がることを期待する。

令和6年8月1日
神奈川 ME·BYO リビングラボ審査委員会